

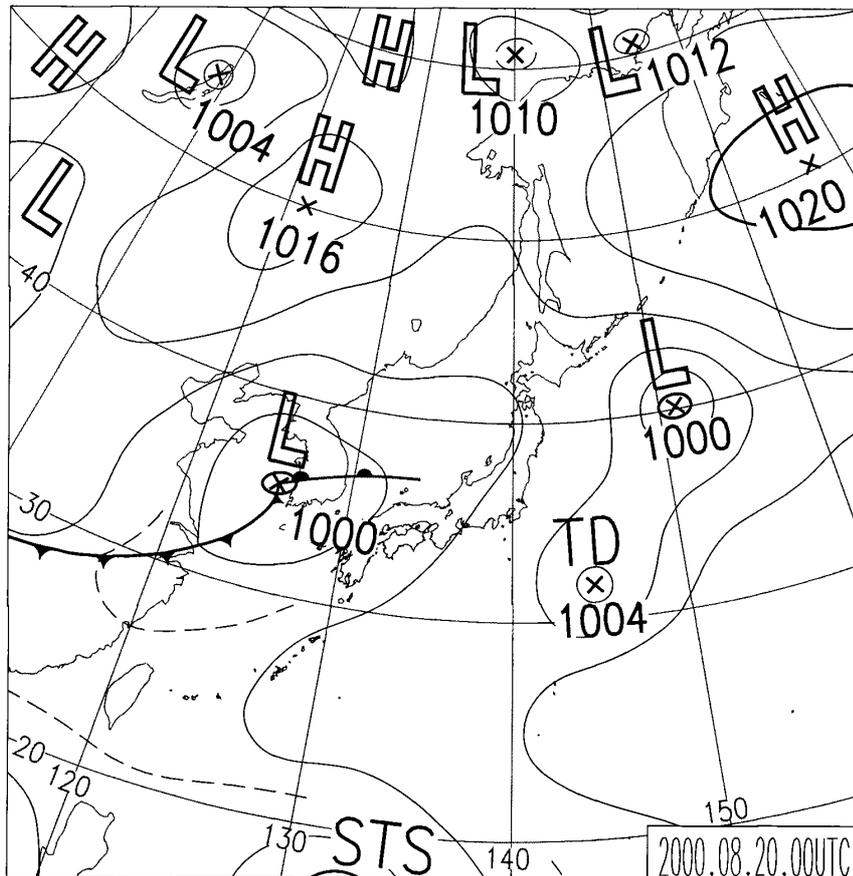
(3) 平成12年8月17日から22日の大雨災害
気象概況

17日から22日にかけて低気圧が黄海から朝鮮半島付近をゆっくり東進した。また福岡県は太平洋高気圧の周辺部となり、南から湿った空気が流れ込んだ。このため晴れ間が出る日もあったが大気不安定な状態が続き時々強雨が降った。県中部から南部にかけて総降水量200mmを越える大雨となった。

期間の総降水量の多い地点は、九千部山 214mm、久留米 202mm、柳川 143mm などであった。

日降水量の多い地点(起日)は、柳川 83mm(20日)、久留米 71mm(21日)、耳納山 63mm(20日)、九千部山 54mm(19日)などであった。

1時間降水量の多い地点は、柳川 57mm(20日 18時)、久留米 35mm(21日 04時)、飯塚 32mm(19日 17時)、久留米 31mm(18日 20時)、九千部山 29mm(19日 19時)などであった。



地上天気図 平成12年8月20日09時

(福岡管区气象台)

